

## 超大区画（4.7ヘクタール）圃場視察



新型コロナウイルス感染症対策で視察の受け入れが難しい中、関川水系土地改良区のご厚意により、6月30日に杉本理事長、田中副理事長はじめ各課から選抜した職員4名で県営経営体育成基盤整備事業（面的集積型）高野地区の超大区画圃場を視察してきました。

関川水系土地改良区では、水田面積5615ヘクタールのうち、圃場整備完了地区が53パーセントの3003ヘクタール、今回視察した高野地区を含む事業継続地区が238ヘクタール、調査地区294ヘクタール、これから予定する構想地区が1548ヘクタール、合計すると5083ヘクタールで水田面積の90パーセントを整備目標に掲げ取り組んでいます。

今回視察した高野地区は、関川水系土地改良区齋藤理事長が以前組合長を務められていた農事組合法人高野生産組合が81.4ヘクタールのうち9割を耕作しています。大区画圃場整備とスマート農業の実践により徹底したコスト削減に取り組み、今日の米を取り巻く厳しい環境下で、重労働からの解放と法人職員の処遇改善により担い手に魅力ある農業にしていく考えを齋藤理事長から熱く語って頂きました。

圃場の標準区画は長辺200メートル短辺50メートルの1ヘクタール区画ですが、北陸一の4.2ヘクタールと市道を挟んで2.5ヘクタールと2ヘクタールの圃場が広がる景色は圧巻で、田面の高低差が大きい本地区では、畔の草刈りと水管理労力が減ることが一番大きな経費節減だそうです。

今回の視察では、基盤整備を実施する新潟県上越振興局農林振興部、スマート農業プロジェクト委員会事務局の上越市、高野生産組合、そして事業を推進する関川水系土地改良区の大勢の担当者の皆様から個々の質問にも対応頂きました。改めて地域の農業関係者が一つとなった早期の圃場整備への取り組みがいかに必要か感じました。

### 短 信

4月 14日 工事入札  
21日 監事会  
24日 事業部会  
5月 20日 総務部会  
〃 理事会  
29日 水利調整委員会

6月 5日 事業部会  
24日 総務部会  
〃 理事会  
29日 水利調整委員会  
7月 8日 理事会  
15日 新潟市土地基盤整備促進協議会役員会  
17日 臨時総代会

7月 20日 工事入札  
27日 水利調整委員会  
8月 11日 事業部会  
21日 水利調整委員会  
25日 監事会  
26日 工事入札